

Feel the arts

伝国の杜だより

米沢市上杉博物館  
置賜文化ホール  
Spring 2022  
VOL.41

特別展

# 戦国京都と 上杉家



国宝「上杉本洛中洛外図屏風」  
原本展示

4月16日(土)～5月15日(日)

企画展示室にて

2022年

前期

4月16日(土) - 5月15日(日)

後期

5月21日(土) - 6月19日(日)

休館日 5月25日(水)

開館時間 9時～17時 (入館は16時30分まで)

\* 5/5(木・祝)こどもの日  
高校生以下 博物館入館無料

\* 5/18(水)国際博物館の日  
どなたでも 常設展入館無料

※感染拡大により記載内容に変更が生じる場合がございます。最新情報はお問い合わせ下さい。

# 特別展 戦国京都と上杉家

前期 4月16日(土)～5月15日(日)  
後期 5月21日(土)～6月19日(日)  
休館日：5/25(水)

5/5(木・祝)  
こどもの日  
高校生以下  
入館無料!

料 金 一 般700円(560円) 高大生450円(360円)  
小中生300円(240円) ※()は20名以上の団体料金  
※常設展示室と一体型。この料金で全館ご覧いただけます。

応仁の乱以降、京都では、抗争が後を絶たず、将軍や公家が離京するなど、まさに激動の時代でした。こうした混沌とした情勢のなか、天皇や将軍は「静謐」(世情の安定)を図ろうと、有力な戦国大名に接近しました。その有力な大名家の一つが上杉家でした。

当館で収蔵している国宝「上杉家文書」や、天皇・将軍から拝領した贈答品などの資料は、上杉家と京都とのつながりを示す優品であり、当時の上杉家の立場をうかがうことができます。

本展覧会では、上杉家が複雑化する戦国時代の京都の情勢の中でどのように向き合い、取り組んできたのかをご紹介します。

## ◆主な出品資料

- 【通期】山形県指定文化財 <sup>す かけふすべかむおどしほらまき</sup> 素懸熏草威腹巻(上杉神社所蔵)  
足利義輝像紙形(京都市立芸術大学芸術資料館所蔵) ほか
- 【前期】重要文化財 三好長慶像(京都・聚光院蔵)  
重要文化財 『実隆公記』(東京大学史料編纂所所蔵) ほか
- 【後期】足利義昭画像(東京大学史料編纂所所蔵)  
重要美術品 太刀 銘 国宗 附戒杖拵(個人蔵) ほか

※以下の事業は、事前申込制 となります。

## ◆講演会「上杉謙信をはじめとする戦国大名は、なぜ足利将軍と交流しつづけたのか」

日時：6月4日(土) 14：00～16：00

会場：伝国の杜2階大会議室 講師：山田 康弘 氏(法政大学・早稲田大学非常勤講師)  
聴講無料、定員先着80名、5月9日(月)9：00～受付開始

## ◆募集制ワークショップについては、4ページをご覧ください。

## ◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示資料解説)

- ① 4月16日(土) 17：15～ ② 5月7日(土) 9：15～
- ③ 5月21日(土) 17：15～ ④ 6月11日(土) 9：15～

※開催時間に  
ご注意ください。

企画展示室(要企画展入館料)

- ※①・②は3/28(月)9：00～ 受付
- ③・④は4/25(月)9：00～



【前期】近衛前久血書起請文  
(国宝「上杉家文書」)(当館蔵)



【前期】山崎吉家・朝倉景連連署状  
(国宝「上杉家文書」)(当館蔵)



【通期】正親町天皇像  
(京都・泉涌寺蔵)



【後期】重要美術品 短刀 銘 吉光(号 五虎退)(個人蔵)



【後期】足利義昭御内書  
(国宝「上杉家文書」)(当館蔵)



Photo ©Brain Trust Inc.  
《ウィリアム・モリス いちご泥棒(壁紙)》



《サセックス・シリーズの  
肘掛け椅子》 Photo ©Brain Trust Inc.

## 企画展

6月25日(土)～7月31日(日) 休館日 7/27(水)

# アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

料 金 一般490(390)円、高大生340(270)円、小中生240(190)円

※()は20名以上の団体料金

企画協力 株式会社ブレントラスト

ウィリアム・モリス(1834-96)は、産業革命により衰退した職人の手仕事と、ものづくりが生活と豊かに結び付いていた中世社会を理想とし、自然の草木をモチーフとしたデザインや詩作、環境や古建築の保護まで多彩な活動を行いました。

モリスが先導し、その思想に共鳴するデザイナーや建築家たちが19世紀後半のイギリスで生み出したひとつの潮流は「アーツ・アンド・クラフツ運動」と呼ばれ、彼らが目指した手仕事の復興や生活と芸術の統合は今日でも大きな影響を及ぼしています。

本展覧会では、モリスをはじめ、「アーツ・アンド・クラフツ運動」を牽引したウォルター・クレインやウィリアム・ド・モーガンなどのイギリスのデザイナーを中心に、壁紙、テキスタイル、家具、金工、宝飾品、書籍等の作品を紹介し、さらにはアメリカのフランク・ロイド・ライトやティファニー商会など、イギリス国外にまで派生したその運動の多様性を展覧します。

※以下の事業は、事前申込制 となります。

## ◆ギャラリートーク(担当学芸員による展示資料解説)

日時：6月25日(土) 17：15～ 企画展示室(要企画展入館料)

※5/25(水)9：00～受付

企画展 米沢市上杉博物館×<sup>つづり</sup>綴プロジェクト 日本画をたのしもう 前期 8月6日(土)～8月23日(火)  
**高精細複製が語る名品の世界** 後期 8月25日(木)～9月11日(日)  
 休館日：8/24(水)

料金 一般700円(560円) 高大生300円(240円)  
**小中生 無料** ※( )は20名以上の団体料金  
 ※常設展示室と一体型。この料金で全館ご覧いただけます。

日本古来の貴重な文化財には、通常、見ることのできない作品がたくさんあります。大切なオリジナル作品を保存することと、その美しさをできるだけ多くの人に見てもらおうことの両方をかなえるため、2007年、文化財未来継承プロジェクト「綴」が始まりました。最新のデジタル技術と伝統工芸の技を駆使した高精細複製品は、日本美術と接する機会をより多くの人に提供し、新たな日本文化の認識へと繋がっています。

当館所蔵の国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は、綴プロジェクト第一期作品として選定され、2008年に複製寄贈を受けて以来13年間、小中学校への出前授業などで活用され、2,500人余りの子どもたちがその魅力や価値を実感しています。

本展では、綴プロジェクトで制作された高精細複製品から24点を選びめぐり展示し、中・近世の錚々たる絵師たちの競演の中から、日本人の感性を表出させた日本画の魅力を再発見するとともに、複製品の役割についても紹介します。

特別協力：キヤノン株式会社  
 協力：特定非営利活動法人京都文化協会・  
 独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター

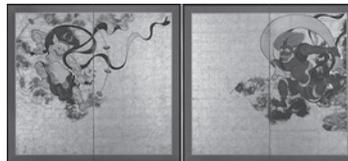
※以下の事業は、**事前申込制**となります。

◆**ゲストギャラリートーク「綴プロジェクトのすべて」**  
 日時：8月6日(土) 17:15～ ※7/6(水)9:00～受付  
 ゲスト：京都文化協会 代表理事 田辺幸次氏  
 企画展示室(要企画展入館料)

◆**募集制ワークショップ**については、4ページをご覧ください。

◆**主な出品資料** いずれも**高精細複製品** ※( )は複製品所蔵者

- 【通期】国宝 上杉本洛中洛外図屏風 狩野永徳(当館蔵)  
 国宝 檜図屏風 狩野永徳(国立文化財機構蔵)
- 【前期】国宝 松林図屏風 長谷川等伯(国立文化財機構蔵)  
 平家物語 一の谷・屋島合戦図屏風(国立文化財機構蔵)
- 【後期】国宝 納涼図屏風 久住守景(国立文化財機構蔵)  
 群鶴図屏風 尾形光琳(東京都美術館蔵)



【通期】国宝 風神雷神図屏風 高精細複製品  
 俵屋宗達(京都・建仁寺蔵)

【通期】重要文化財 梅花遊園図襖 高精細複製品  
 狩野山雪(京都・天球院蔵)



特別展 **上杉家の古写真(仮)** 前期 9月17日(土)～10月16日(日) 休館日：9/28(水)  
 後期 10月22日(土)～11月20日(日)

常設展示室 **上杉文華館** 年間テーマ：関東管領上杉氏

長尾景虎(上杉謙信)が継承した山内上杉氏は、室町幕府が設置した関東支配のための地方機関で鎌倉府のナンバー2の地位にあった関東管領を家職とし、室町時代の政局に大きな位置を占めました。この展示では、国宝「上杉家文書」から、幕府や鎌倉府との関係のなかでの動向、役割などについて紹介し、米沢藩主上杉家の由緒に迫ります。国宝「上杉家文書」は約一か月ごとに展示替えます。

※内容は変更になる場合があります。

(貞治2年・1363)3月24日上杉憲顕宛足利基氏書状 ▶  
 鎌倉公方足利基氏が憲顕に関東管領就任を要請した書状。「関東管領」という語の初見。



CT(コレクショントーク)は各回10:00～と15:00～の2回行います。  
 ★要常設展入館料

- ① 3月29日(火)～4月26日(火)「上杉氏の台頭」 CT：4/3(日)
- ② 4月27日(水)～5月24日(火)「上野守護」 CT：5/8(日)
- ③ 5月26日(木)～6月21日(火)「越後守護」 CT：6/5(日)
- ④ 6月23日(木)～7月26日(火)「観応の擾乱」 CT：7/3(日)
- ⑤ 7月28日(木)～8月23日(火)「伊豆守護」 CT：8/7(日)
- ⑥ 8月25日(木)～9月27日(火)「幕府との結び付き」 CT：9/4(日)
- ⑦ 9月29日(木)～10月25日(火)「応永の乱」 CT：10/2(日)

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」(複製)もご覧いただけます。

**モールの作品展示予定** Uesugi Museum Art Collection モールは小さな美術館

\*展示作品は都合により変更になる場合があります。

総合案内前では、当館アートコレクションから郷土作家をメインに作品を定期的に入れ替えながら展示しています。ご来館の際はぜひ足を止めてご覧ください。

■～5月24日(火)  
 遠藤桑珠「筍図」 制作年未詳(昭和～平成)  
 紙本着色

■5月26日(木)～7月26日(火)  
 遠藤賢「スペインの田舎町」  
 1998年 油彩・キャンパス



■7月28日(木)～9月27日(火)  
 我妻碧宇「紅梅」 制作年未詳(昭和)  
 紙本着色

■9月29日(木)～11月23日(水・祝)  
 浜田浜雄 作品名未詳(太陽)  
 1965年 板・油彩  
 作品名未詳  
 1951年 油彩・キャンパス



常設作品  
 「腰かけた女」  
 桜井祐一  
 1980年

教育普及事業

Hands & Heart ~手とこころでかんじよう~

PS プレイショップ × 造形

- ・申し込み不要(入室定員15名)※団体利用は要事前予約。
- ・手指消毒、マスク着用にご協力下さい。
- ・休館日は年間カレンダー、HPでご確認下さい。

3/25(金)~4/26(火) かわったお絵かき **パチックあそび**

4/28(木)~5/24(火) ホログラムシートで **宇宙をつくろう**

5/27(金)~6/21(火) お花紙でかわいい **ステンドグラス**

6/24(金)~7/26(火) かんたん版画で **アーツ&クラフツ**

7/29(金)~8/23(火) 日本画に挑戦! **洛中洛外図名場面**

8/26(金)~9/21(水) 折ってばたばた **紙のおりぞめ**

WS 募集制ワークショップ

要事前申し込み ※参加費:各500円



国宝上杉本洛中洛外図屏風の  
世界を楽しむ

夜の博物館で国宝の魅力をじっくりと  
味わいましょう。  
5月13日(金)19:00~20:30  
4/7(木)~受付

アーツ&クラフツを知る

モリスから山形の手仕事まで  
思いをめぐらせてみませんか。  
7月15日(金)19:00~20:30  
6/9(木)~受付

アート思考でたのしむ日本画の世界

8月16日(火)19:00~20:30 講師:美術教師・アーティスト 末永幸歩氏  
7/7(木)~受付

※いずれも定員20名(中学生以下は保護者同伴)

色とあそぼう

透明な大画面に自由に  
描こう!

7月2日(土)10:00~11:30  
定員 未就学児10名



5/26(木)~  
受付

夏のすり染め

~植物のちから~  
植物を使ってマイバッグを  
そめよう

7月31日(日)13:30~15:30  
定員 小学生以上15名



6/23(木)~  
受付

夏の終わりの  
カラーハンティング

画用紙チップに自然の色と  
光をつかまよう

9月3日(土)10:00~12:00  
定員 小学生以上15名



募集制ワークショップ  
チルドレンキュレーターズ18  
こども学芸員の育成

対象:小学4年生~中学3年生 5名程度  
年間12回程度の活動に継続参加できる方

募集期間:4月13日(水)~5月8日(日)

参加費:年間1,000円

活動予定日:5/15, 6/11, 7/10, 8/28,  
9/3, 10/22, 11/26, 12/3,  
2023/1/21, 2/26, 3/4, 3/26

現在6名が博物館のバックヤードを  
中心に活躍しています。



新メンバー募集!

博物館の裏側、  
そして  
本当の仕事とは...

ホール事業連携ワークショップ

「紅花の守人」ワークショップ(詳細はホール事業6ページ  
をご覧ください)

ぶんかつアウトリーチ

松林図屏風を  
つくろう

講師:独立行政法人国立文化財機構  
文化財活用センター  
小島有紀子氏

国宝「松林図屏風」長谷川等  
伯(高精細複製)を間近でみ  
ながら、その魅力を体感し  
ます。

8月27日(土)14:00~15:30  
対象 小中学生親子 定員10組

8月28日(日)10:00~11:30  
対象 高校生以上 定員20名

7/14(木)~受付

参加費無料  
要企画展  
入館料

MWS 自由参加制ワークショップ 申込不要・参加無料

植物でそめよう

一和紙のテキスタイルデザイン

※先着30名程度。

「たたきぞめ」で葉っぱや花の色をうつし取ってみよう。

夏の植物 秋の植物  
①7月9日(土) ②9月24日(土) 13:00~15:30

出前授業、学校連携の事例などはホームページに掲載  
しています。詳細は以下にお気軽にご相談ください。

お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)

[E-mail]

welcome@denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp



収蔵品 学芸ノートから

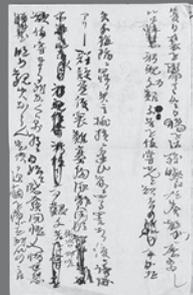
まるやま け でんらい くも い たつ おかんけいもんじよ  
丸山家伝来 雲井龍雄関係文書 329点

幕末の米沢藩士雲井龍雄(本名 こじまりゆうざぶろう 小島龍三郎)の関連資料で、龍雄の妻  
「よし」の生家丸山家に伝来しました。2016年に当館に寄贈され、近年整  
理が完了しました。

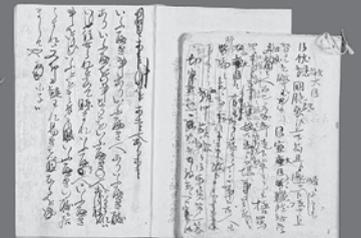
雲井は天保15年(1844)に生まれ、江戸に出て儒学者安井息軒やすいそっけんに入門、  
さらに京都に登り、諸藩の士と交わります。明治元年(1868)の戊辰戦争  
に際し、薩摩藩を痛烈に批判した「討薩檄とうさつげき」で知られますが、明治3年には  
新政府転覆を図ったとして処刑されました。

本資料群は主に木箱3箱分、書状類約80点と漢詩文40点を中心です。

古くは享保17年(1732)の江戸道中記、雲井の祖父小島居秀の漢詩文や小島家の家政関係、新しいものでは明治後期から昭和10  
年(1935)頃の雲井の顕彰に関する書類があります。この中から雲井の書状、日記や情勢の探索書、同志との誓詞、漢詩文といっ  
た主要資料が40点以上、安藤英男著『新稿 雲井龍雄全伝』(光風社出版、1986年)に収録、研究に供されてきました。一方、  
本資料群には雲井のものと思いき特徴的な筆跡の意見書や探索書、各種の草稿や手控えといった新出史料も確認されます。  
当館では2018年度特別展『戊辰戦争と米沢』などで一部を紹介してきましたが、今後のさらなる調査と活用を目指していきます。



▼幕末期の意見書、探索書類には、推敲の跡が  
数多くみられる



ミュージアムショップから

新商品予告 春の特別展関連商品をお見逃しなく!

国宝「上杉家文書」をはじめ、戦国時代に上杉家が天皇や将軍から拝領した贈答品など、数々の優品を紹介する春の特別展「戦国京都と上杉家」。展示資料をたっぷりご紹介する公式図録を販売予定です。

また、今回展示予定の「短刀 銘 吉光(号 五虎退)」の新しいグッズとして、刃文や鋼の美しさをデザイン化して表現したクリアファイルを製作中です。詳細は当館のSNSやHPにて随時お知らせしますので、ぜひチェックしてください。



五虎退銀地クリアファイル

※画像は開発中のものです。実際の商品とは異なる場合があります。



通信販売はコチラから

<https://www.uesugi-museum.jp/>

伝国の杜

開館20周年サクスプレゼントを配布しました  
2021年9月29日(水)

「伝国の杜」20歳の誕生日に、これまでの感謝をこめて「国宝上杉本洛中洛外図屏風」金地クリアファイルを200名の方に贈呈しました。

開館前から多くの方がお越しくださり、皆様の日頃からのご支援にスタッフ一同、胸が熱くなりました。今後も皆様とつくる「伝国の杜」をめざして気持ちを新たに歩みを進めて参ります。



常設展示室から

上杉鷹山シアター 新番組「上杉鷹山 ふたたびの改革 — 現在に語りかける明君の生涯 —」  
3月29日(火)上映スタートします。寛政の改革と鷹山の後半生をアニメと資料を交えてご紹介します。

最近の催事・事業から

「上杉文書」の調査・再整理を実施中

「上杉文書」は、上杉家に伝来した約1万点の史料群です。その価値は高く評価され以前から研究に供されてきました。しかし、詳細な目録は作成、公開されていないため、全点を把握し、歴史的価値を明らかにする必要があります。

そのため、昨年度から文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の補助を受け、5カ年の計画で史料調査を実施しています。古文書を1点ずつ取り出し、表題や内容、作成者と宛先、サイズや形、使われている紙の種類など約20項目を採録し詳細なリストを作成していきます。米沢市と当館のスタッフに加え、米沢女子短期大学はじめ近隣大学の教員や様々な研究者、学生の協力を得ながら、調査を進めています。

今後、ホームページやSNS、展示などで調査の様子や成果を発信していきますのでご注目下さい。



2021年11月23日(火・祝)

AUN J クラシック・オーケストラ  
NIPPON 応援 和楽器 LIVE

「1000年続く和の音を1000年先まで伝えたい」をコンセプトに結成された和楽器ユニットによるLIVEを開催。

和楽器や純邦楽のイメージが180度変わる明るい音楽と元気なパフォーマンスで、会場がとても盛り上がりました。



ナセBA

市立米沢図書館 Book & Art よねざわ市民ギャラリー

市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーからのお知らせ

米沢市中央1丁目10-6 TEL 図書館：0238-26-3010 / ギャラリー：0238-22-6400

◆6月24日(金)~8月24日(水)  
写真でみる米沢Part5  
「米沢駅のある風景」

◆5月27日(金)~6月22日(水)  
ナセBAうちどくスタンプラリー展示  
「うちどくおすすめ本のしょうかい」

※うちどく(家読)とは…  
「家読(うちどく)」は、「家庭読書の略語で家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動」です。

◆8月26日(金)~10月26日(水)  
コレクション展「和装本の世界」



先人顕彰コーナーの展示

◆3月25日(金)~5月25日(水)  
「桜井祐一〜米沢の足跡〜」

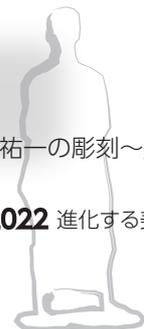
市民ギャラリー自主事業

◆オープンギャラリー  
3月25日(金)~2023年4月26日(水)  
上杉博物館アートコレクション「生命の造形〜桜井祐一の彫刻〜」

◆4月13日(水)~4月24日(日)  
「おきたま若手作家展 SUBACO2022 進化する美術展」

◆8月20日(土)~9月4日(日)  
「友永詔三展—木彫と人形の世界—(仮)」

いずれも入場無料です。※コロナ感染拡大状況に応じて変更になる場合もあります。



4/16(土)18:00開演 17(日) ①10:30開演 ②14:00開演

べにばな もりびと

ドキュメンタリー映画「紅花の守人」米沢上映会



©映画「紅花の守人」製作委員会

ナレーション：今井美樹 唄：朝倉さや 監督：佐藤広一 プロデューサー：高橋卓也

紀元前まで遡る紅花の歴史、山形・米沢の紅染文化を繋いできた人たちの姿を、女優の今井美樹がナビゲート。

紅の色はなぜ人を魅了するのか。途絶えていた紅花栽培を蘇らせた「守人」たちが語った真実、そして夢一。

映画を通して紅花をめぐる贅沢な旅に出かけてみませんか。

ticket 全席自由 一般¥1,100  
小中高・大学生¥800  
(当日各200円増)

[伝国の杜][こまつ書店堀川町店]

あわせて知っておきたい！

・映画の予告編や、おたのしみ関連イベント情報などは、映画公式メディアでも随時配信中！

・米沢を含む最上川流域の紅花栽培や加工の文化はFAO(国連食糧農業機関)の「世界農業遺産」認定地の候補となりました。

米沢市上杉博物館連携

「紅花のふしぎ体験ワークショップ」

日時 8月7日(日)

場所 伝国の杜

方法 事前申込制 受付6/23(木)～

対象 小学生以上10組程度

8/12(金)19:00開演

山形交響楽団ユアタウンコンサート2022 米沢公演



©山岸伸

お待たせしました！伝国の杜ファンからのリクエストにお応えし、山響・桂冠指揮者の飯森範親氏が登場。ベートーヴェンの交響曲第7番は、ワーグナーにして“舞踏の権化”と評されるなど、全楽章に展開されるリズムで疾走感あふれる人気の名曲。軽やかな夏を元氣いっぱいになり切るための、心のエネルギーに代えてお届けします。

山響は、楽団創立から50年のメモリアルイヤーを迎えました。これからも音楽文化をけん引し続けます。



©Kazuhiko Suzuki

ticket 全席指定 一般¥4,000 学生(U-24) ¥1,500  
(当日各500円増) ※小学生から入場できます。

発売日 伝国の杜FC会員先行予約 4/20(水)～24(日)  
山形交響楽団鑑賞会員先行販売 4/21(木)  
一般発売 4/28(木)

プレイガイド [伝国の杜]9:00-17:00 電話と窓口で受付  
[山響Webチケット]初日10:00/24時間受付中  
[チケットぴあ]初日10:00/決済・引取り方法多数

Program

スッペ：喜歌劇「軽騎兵」序曲

ドビュッシー：小組曲

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 Op.92 他

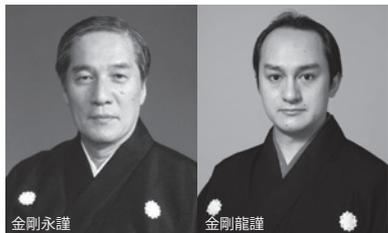
マエストロがナビゲート！

地域の子どもたちと保護者を招き、前日のリハーサル見学会を開催します。プロのオーケストラが音楽を創り上げる様子を見ていただき、リハーサル後には、皆さんからの質問にもお答えします。

(詳しい参加方法などは公演チラシに掲載)

9/10(土)14:00開演

金剛流「土蜘蛛 千筋之伝」他



金剛永謹

金剛龍謹

能楽シテ方五流派のひとつ「金剛流」二十六世宗家・金剛永謹と次期宗家・金剛龍謹による能「土蜘蛛」。土蜘蛛の精が細く大量の糸を繰り出す戦いが見どころの小書き「千筋之伝」で上演。龍謹氏ご子息の仕舞を含む金剛家三世代が揃う米沢公演は初めての開催となります。地元の小中学生によるこども狂言、能楽師の解説トークも、お楽しみください。



能「土蜘蛛」

こちらもお越し下さい。

9/11(日) 能楽の祭典 入場無料

国文祭を機に毎年参加団体を募集して20年目となる能楽の祭典。各地の愛好団体が、連吟・仕舞・舞囃子・狂言などを発表します。

ticket 全席指定 一般¥3,500 学生¥2,000  
※5才から入場できます。(当日各500円増)

発売日 伝国の杜FC会員先行予約 6/1(水)～5(日)  
一般発売 6/9(木)

プレイガイド [伝国の杜] 9:00-17:00 電話と窓口で受付

## 10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート



すばらしい感性とテクニックで、本物の南米アンデス地方の民族音楽・フォルクローレを演奏するユニット「MAYA」によるコンサートです。

日本の真裏の地域の音楽でありながら、何故か日本人の感性にぴたりと合う、どこか懐かしく聞きやすいフォルクローレを、お馴染みの「コンドルは飛んでいく」「花まつり」から日本の名曲のアレンジまで、幅広いレパートリーでお届けします。

ticket

【全席指定】一般2,000円

※上記金額は前売料金です。※未就学児は入場できません。

発売日

伝国の杜FC会員先行予約 7/20(水)～24(日)

一般発売 7/28(木) 9:00

## 11/27(日) 山崎バニラの活弁大絵巻 in よねざわ



金髪のおかっぱ頭に独特のヘリウムボイスで、声優としても活動している活弁士、山崎バニラが「活動写真」と呼ばれたレトロな時代の映画と活弁の面白さをご紹介します。

役者の音声やBGMが無い時代に、映画の鑑賞に欠かせなかった活弁士。

映画の技術が進んだ現在、普段お目にかかれないその話芸を、大正琴・ピアノの弾き語りと一緒に、お楽しみください。

ticket

【全席指定】一般2,000円

※上記金額は前売料金です。※未就学児は入場できません。

発売日

伝国の杜FC会員先行予約 8/24(水)～28(日)

一般発売 9/1(木) 9:00

## チケット プレイガイド

受付時間  
開館日の9:00～17:00

当館プレイガイドでは、置賜文化ホール自主事業のほか、主に伝国の杜で開催される公演チケットを主催者からの依頼により販売しています。

### チケット購入先

※伝国の杜事務室

窓口もしくは電話予約によるチケット郵送も可能です。詳しくは右の図をご覧ください。

※市内プレイガイド他

米沢市内の店舗やインターネットで販売する場合もございます。イベントごとに取扱いがそれぞれ異なりますので、それぞれのチラシ・ポスター、もしくは伝国の杜ホームページをご確認ください。

### チケット購入方法

電話予約

伝国の杜置賜文化ホール  
Tel.0238(26)2666

窓口受取

伝国の杜事務室でお引換  
(ご予約後1週間以内)

窓口申込

事務室で直接ご購入の場合は  
チケット代金支払と同時に受取り

郵便振込

ご予約後1週間以内  
(自主事業のみ)

チケット郵送

送料無料でご自宅へ郵送  
(自主事業のみ)



★購入の際は、連絡先把握のため申込用紙のご記入をお願いしています。

★新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

## 伝国の杜こども狂言クラブ

米沢市では、藩政の時代から今日まで金剛流能楽が受け継がれています。伝統文化「能楽」のひとつである狂言は、国語の教科書にも登場する日本古来の演劇です。伝国の杜狂言クラブでは、米沢の能楽文化に親しんでほしいという思いから、春休みの能舞台での発表を目標に、年間を通して、月1～2回の稽古を行っています。

東京からプロの狂言師を招いて指導を受けながら、古くから使われる日本語のセリフや狂言独特の所作などを学び、日常生活で触れることのない貴重な体験もできます。また、足袋や扇、着物や袴などの扱いを学び、物を大切にすることを育んでいます。



### 新メンバー募集中!

対象は5歳～中学生まで。

お気軽に置賜文化ホールまでお問い合わせください。



展覧会		教育普及事業	ホール
<b>G</b> : ギャラリートーク (企画展示室展示解説) <b>講</b> : 講演会 <b>C</b> : コレクショントーク (上杉文華館展示解説) いずれも10:00~15:00~2回 常設展示室上杉文華館		募集制ワークショップ (要事前申込・有料) 自由参加制ワークショップ (申込不要・無料)	
<b>企画展示室</b> 前期 4/16(土) 特別展 戦国京都と上杉家 5/5(日) <b>G</b> 4月16日(土)17:15~ 5月7日(土)9:15~ 要入館料、事前申込制、定員各20名 5/5 子どもの日 博物館高校生以下 無料入館日 4/16~5/15 国宝上杉本洛中洛外図屏風 原本展示	年間テーマ 「関東管領上杉氏」 3月29日(火)~ 4月26日(火) 上杉氏の台頭 <b>C</b> 4月3日(日)	5月13日(金)19:00~20:30 ナイトツアー~よこそ夜の博物館へ 国宝上杉本洛中洛外図屏風の 世界を楽しむ 5月15日(日)スタート 学芸になるう きみもチルドレンキュレーターズ18 年間12回シリーズ 7月2日(土)10:00~11:30 色とあそぼう! 7月9日(土)13:00~15:30 植物でそめよう ~和紙のテキスタイルデザイン~ 7月15日(金)19:00~20:30 ナイトツアー~よこそ夜の博物館へ アーツ&クラフツを知る 7月31日(日)13:30~15:30 夏のすり染め~植物のちから~ 8月16日(火)19:00~20:30 ナイトツアー~よこそ夜の博物館へ アート思考でたのしみ日本画の世界 8月27日(土)14:00~15:30 8月28日(日)10:00~11:30 ぶんかつアウトリーチ 松林図屏風をつくろう 9月3日(土)10:00~12:00 夏の終わりの カラーハンティング 9月24日(土)13:00~15:30 植物でそめよう ~和紙のテキスタイルデザイン~	4/16(土)・17(日) 映画「紅花の守人」上映会 8/11(木・祝) 山形交響楽団 リハーサル見学会 8/12(金) 山形交響楽団 ユアタウンコンサート 2022 9/10(土) 金剛流能公演 9/11(日) 能楽の祭典 10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート
後期 5/21(土) <b>G</b> 5月21日(土)17:15~ 6月11日(土)9:15~ 要入館料、事前申込制、定員各20名 6/19(日) <b>講</b> 6月4日(土)14:00~16:00 「上杉謙信をはじめとする戦国大名たちは、 なぜ足利将軍と交流しつづけたのか」 山田康弘氏(法政大学・早稲田大学 非常勤講師) 2階大会議室 聴講無料 事前申込制 定員80名 5/18 国際博物館の日 となたでも 常設展無料入館日 6/25(土) 企画展 アーツ&クラフツとデザイン ウィリアム・モリスから フランク・ロイド・ライトまで 7/31(日) <b>G</b> 6月25日(土)17:15~ 要入館料、事前申込制、定員20名 休館日 5/25 7/27	4月27日(水)~ 5月24日(火) 上野守護 <b>C</b> 5月8日(日) 5月26日(木)~ 6月21日(火) 越後守護 <b>C</b> 6月5日(日) 6月23日(木)~ 7月26日(火) 観応の擾乱 <b>C</b> 7月3日(日) 7月28日(木)~ 8月23日(火) 伊豆守護 <b>C</b> 8月7日(日) 8月25日(木)~ 9月27日(火) 幕府との結び付き <b>C</b> 9月4日(日) 9月29日(木)~ 10月25日(火) 応永の乱 <b>C</b> 10月2日(日)	7月15日(日)スタート 学芸になるう きみもチルドレンキュレーターズ18 年間12回シリーズ 7月2日(土)10:00~11:30 色とあそぼう! 7月9日(土)13:00~15:30 植物でそめよう ~和紙のテキスタイルデザイン~ 7月15日(金)19:00~20:30 ナイトツアー~よこそ夜の博物館へ アーツ&クラフツを知る 7月31日(日)13:30~15:30 夏のすり染め~植物のちから~ 8月16日(火)19:00~20:30 ナイトツアー~よこそ夜の博物館へ アート思考でたのしみ日本画の世界 8月27日(土)14:00~15:30 8月28日(日)10:00~11:30 ぶんかつアウトリーチ 松林図屏風をつくろう 9月3日(土)10:00~12:00 夏の終わりの カラーハンティング 9月24日(土)13:00~15:30 植物でそめよう ~和紙のテキスタイルデザイン~	8/11(木・祝) 山形交響楽団 リハーサル見学会 8/12(金) 山形交響楽団 ユアタウンコンサート 2022 9/10(土) 金剛流能公演 9/11(日) 能楽の祭典 10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート
前期 8/6(土) 企画展 米沢市上杉博物館 × 綴プロジェクト 日本画をたのしもう ~高精細複製が語る名品の世界~ 8/23(火) <b>G</b> 8月6日(土)17:15~ 「綴プロジェクトのすべて」 田辺幸次氏(京都文化協会 代表理事) 要入館料、事前申込制、定員20名 休館日 8/24 後期 8/25(木) 企画展 上杉家の古写真(仮) 9/17(土) <b>G</b> 9月17日(土)17:15~ 10月22日(土)9:15~ 要入館料、事前申込制、定員20名 休館日 9/28-10/26 講 10月1日(土)14:00~16:00 「上杉家伝来写真の魅力と特徴」(仮) 三井圭司氏(東京都歴史文化財団 学芸員) 2階大会議室 聴講無料 事前申込制 定員80名 9/11(日) 9月11日(日)	観応の擾乱 <b>C</b> 7月3日(日) 伊豆守護 <b>C</b> 8月7日(日) 幕府との結び付き <b>C</b> 9月4日(日) 応永の乱 <b>C</b> 10月2日(日)	9/10(土) 金剛流能公演 9/11(日) 能楽の祭典 10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート	9/10(土) 金剛流能公演 9/11(日) 能楽の祭典 10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート
後期 10/22(土) 11/20(日) 10/22~11/20 国宝上杉本洛中洛外図屏風 常設展室で原本展示	応永の乱 <b>C</b> 10月2日(日)	10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート	10/29(土) MAYA フォルクローレ・コンサート

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。



手指の消毒



不織布  
マスク着用



検温



密を避ける  
距離をとる  
2m

- 博物館チケット半券は2週間程度保管下さい。(ご来館日がわかります。)
- ホール自主事業ではチケットご購入の際お名前、ご住所など連絡に必要な情報の提供をお願いしています。

## 国宝上杉本洛中洛外図屏風

狩野永徳筆 室町時代

うぐすあわせ

鶯合 (左隻2・3扇)

鶯の啼き声の優劣を競う遊び。室町幕府の有力者細川典厩の屋敷で行われています。旧暦2月の行事とされます。

公家社会で行われていましたが、14世紀南北朝時代には武家に広がり、江戸時代には庶民の間でも行われました。



令和4年度会員入会受付中です♪

### 伝国の杜ファンクラブ

- 博物館の展示を何度でも無料でご覧いただけます。
- ホールチケットを先行予約、割引価格でご購入いただけます。
- 伝国の杜よりなどの情報をお届けします。
- ミュージアムショップ・カフェ等がお得に利用できます。

年会費 □一般会員 2,500円  
□学生会員 1,000円  
□ジュニア会員 500円

□申込方法:  
ファンクラブ入会申込書に年会費を添えて、伝国の杜事務室にてお申込ください。  
■お問合せ 0238-26-8000

### 伝国の杜サポーター

伝国の杜の事業を表側と裏側とで支えてくださっているボランティアです。現在、広報物の発送など、8つの分野で登録しています。



「伝国」という言葉は、米沢藩九代藩主上杉鷹山が天明5年(1785)上杉治広に家督を譲る際に藩主の心得として与えた「伝国の辞」に由来するものです。

◆利用案内◆ ※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので詳細はお問合せ下さい。  
博物館開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
休館日: 5~11月 第4水曜日 12~3月 毎週月曜日  
(いずれも休日の場合はその直後の平日)  
年末年始 12/26~1/1 ※1/2, 3は開館(予定)。

博物館入館料: 常設展 一般410(330)円  
高大生210(150)円 小中生110(60)円  
※( )内は20名以上の団体料金  
※特別展・企画展は料金が異なります。  
HP等でご確認下さい。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1  
上杉文化振興財団 Tel. 0238-26-8000  
米沢市上杉博物館 Tel. 0238-26-8001  
置賜文化ホール Tel. 0238-26-2666  
FAX (共通) 0238-26-2660

